

(1) 生徒会活動や自主活動に対する生徒の意識の高揚
<p>近隣小中学校との生徒会交流を通じたペットボトルキャップの回収やゴミの分別問題への取組など、十分な活動ができていると評価できる。行事の見直しや精選、「B E G I N」の全員配付をクラス掲示に変えたことなどで、生徒や教職員の把握が前年度と異なったのではないかと考える。</p> <p>①生徒会活動や自主活動の魅力や楽しさについて、校内外にもっとアピールしていく。</p> <p>②駐輪場での鍵かけ啓発を通じた規範意識の醸成（生徒指導部）など、生徒の自主活動に対する意識の高揚について、他の部署でもできることを考えていく。</p>
(2) 生徒の意見や健康に配慮したクラブ活動の運営
<p>生徒のクラブ活動に対する意見とは「休みがない」「練習量が多すぎる、時間が長い」「審査中でもクラブがある」・・・などが主なものと思われる。このうち審査発表後のクラブ活動の練習については、先日の職員会議で規定を設け対応した。</p> <p>①各顧問を中心に、今後も生徒の健康や学習時間の確保に対する配慮をしていく。 (例：1週間に1回の休養日の設定、練習終了時間の配慮や帰宅についての指導、など)</p> <p>②生徒の学習については他の要因（遊び、アルバイト、など）もあるので、一人ひとりに対する多面的な指導を行っていく。</p>
(3) 危機管理体制の充実
<p>防災計画については、年度当初に総務部で作成し全職員に周知している。また、全校で年間1回の避難訓練を行い、地震・災害などに備えている。不審者侵入対策について、施設設備の改善や人的配置での対応は困難である。</p> <p>①不審者対応マニュアルの徹底を図る。 (例：事務室での受付の徹底、声かけ、報告、連絡、など)</p> <p>②教職員の意識の向上を目指した取組を行う。 (例：現職教育、生徒登下校時の不審者に対する対応の協議、など)</p>
(4) 校訓・校史等の生徒への周知・理解と教育活動への活用
<p>①1年生対象の取組を今後も続けていく。 (例：入学オリエンテーション、稲むらの火の館の見学、など)</p> <p>②全校を対象とした働きかけについても検討する。 (例：150周年記念誌や同窓会報の活用、総学の教材の工夫、など)</p>
(5) 研修成果の還元も含めた現職教育の充実
<p>年々多様化する入試や生徒に対応するためにも、現職教育は必要である。時間的な制約もあり、実施回数を増やすことは困難であるが、内容の精選充実が課題である。</p> <p>①限られた時間を有効に活用する。 (例：研修結果の還元等は資料を配付し短時間でできるように工夫する、職員会議の議題の少ない時に重ねる、など)</p> <p>②研修参加に対する工夫 (例：分掌に来た研修案内を他の職員にも紹介する、など)</p>
(6) その他
<p>①3学期制への移行は、新学事システムの安定した運用を確認できてからにしたい。 (教務部、VISION委員会)</p> <p>②類コース選択については、よりよい方向を目指し具体案を提案したい。(教務部)</p>

(特活部より)

- ①近隣小中学校から交流要請もあったが、日程や授業の都合もあり実現できていない。他校との交流よりも、まずは校内の清掃など基本的なことを優先して指導したい。
- ②クラス独自のHRのときに、まとまりがなく活動しているのを見かけることが増えたように感じる。準備等も担任や特定の生徒のみに負担がかかっている様子も見える。また、当日その時間になって急に、体育館に来て「スポーツをやらせて」とか「道具を貸して」等の申し出をしてくることも増えた。HR委員会での指導は行っているが、クラスとして全員で相談する時間が十分とれない状況があるのかもしれない。